

研究実績の概要（600～800字で記入。図、グラフ等は記載しないこと。）

産業技術大学院大学では情報アーキテクトという人材像を、経済産業省が定めたITスキル標準のITアーキテクトとは若干異なる形で定義している。また企業間でもアーキテクトに対する定義は異なっており、人材像のさらなる明確化のために本学がその育成を目指す情報アーキテクトについて、情報アーキテクトが具備すべき知識、スキル、コンピテンシーといった側面に対する具体的指標を確立する必要がある。こうした知見をもとに、来年度実施予定のPBLについて、プロジェクト実施過程への教育目標の具体的埋め込み、および学生の達成度評価の仕組みを構築することが喫緊の課題となっている。

本研究を実施することでPBLに関する標準的なコース作成の方法を確立する意義は高い。

本年度の研究項目は

（1）情報ネットワーク・サーバ系、ソフトウェア開発系、データベース系の3分野について、それぞれの分野で情報アーキテクトに要求される知識、スキル、コンピテンシーの明確化

（2）PBLの教育課程で上記の知識、スキル、コンピテンシーの強化訓練を施すタイミング等、PBL教育プロセスの設計

（3）チーム学習を前提としたPBLでの個々の学生評価のための評価項目、達成度指標の開発とその客観化

とし、以上について研究を実施した。

上記、研究項目について、それぞれの研究分野に属する専任教員のチームを結成し、チームごとに責任者を定め研究を進める。なお、運営諮問会議の実務者会議に協力を仰ぎ、産業界からアドバイザーメンバーを加えFDフォーラムなどで検討会を実施した。

様式3

| 研究発表 [雑誌論文発表、図書、学会発表等] | | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|--|-------------|
| 著者（講演者） | 論文題目（発表題目） | 発表誌（発表大会名） | 年月 |
| 石島 辰太郎 | アイントフォーフェン大学の事例に見るPBL法について | 第1回 IT専門職養成のためのPBL型教育シンポジウム 論文集1ページから48ページに本学教員の本研究に関する講演論文をまとめている。 | 2006年 9月 |
| 川田誠一、石島辰太郎、森本祥一、長尾雄行、土屋陽介、清水将吾、村尾俊幸 | 情報アーキテクト教育におけるPBL方法の一検討 | | |
| 秋口忠三 | PBL教育に適したソフトウェア開発テーマ | | |
| 酒森潔 | PBL方式によるプロジェクト管理教育 | | |
| 瀬戸洋一 | 専門職大学院における情報セキュリティPBL教育に関する一考察 | | |
| 戸沢義夫 | 仮想問題ではなく実問題を扱うPBLに於ける教育の可能性について | | |
| 南波幸雄 | 専門職大学院大学における情報システム上流工程教育へのPBLの導入 | | |
| 村越英樹 | カーネギメロン大学およびサンノゼ州立大学におけるPBL型教育視察報告 | | |
| 中鉢欣秀 | ソフトウェア開発に基づくPBL型教育 | | |
| 加藤由花 | 情報系専門職大学院におけるPBL型教育に関する一考察 | | |
| 森本 祥一、長尾 雄行、土屋 陽介、清水 将吾、村尾 俊幸 | PBL教育における教育コンテンツのWeb配信……45 | | |